

# 逍遙館長のところ

## 「歴史とは皮肉なもの、のところ」

1月21日 逍遙<sup>しやう</sup>

今日1月21日は、西郷隆盛が、第11代薩摩藩主・島津齊彬の参勤交代に従って、初めて江戸に向かった日です。江戸に着いた直後に、西郷は、庭方役を拝命しました。これにより、將軍継嗣問題では一橋徳川家の徳川慶喜を推し、尊皇思想に基づく公武合体を目指していた齊彬と直に面会できる機会を得ることとなります。そのきっかけとなったのが、今日1月21日でした。

しかしながら、歴史とは誠に皮肉なものです。西郷が、齊彬の指示の下、公武合体を、そして徳川慶喜を將軍の跡継とするために奔走するきっかけとなった全く同じその日（勿論、時代は12年後ですが）に、実は、あの薩長同盟が、京都御花畑屋敷において、小松帯刀・西郷隆盛と桂小五郎との間で締結されたのでした（締結日については諸説あり）。

西郷の人生にとって、今日1月21日は、全く真逆の展開につながる大きな転換の日となったのでした。

◎ 次回の予定 「島津齊彬・強(豊)かな国 日本、のところ」

